

【背景】 COVID-19パンデミック下において一次医療機関である診療所でもPPEの不足が懸念された。

【方法】 PPEの在庫状態を認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパンが物資支援を行った東京都医師会所属の19床以下の診療所を対象として2020年4月17日にWebアンケートで調査した。

【結果】 125の診療所がアンケートに回答。サージカルマスクと手袋を除くほとんどのPPEが半数の診療所で在庫ゼロの状況であった。

PPE Inventory Survey Results

	0	1 to 50	51 to 100	101 to 200	>201	no answer
Surgical masks	18 (14.4%)	39 (31.2%)	26 (20.8%)	19 (15.2%)	13 (10.4%)	10 (7.9%)
N95 Respirators	72 (57.6%)	33 (26.4%)	4 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (12.7%)
Medical gloves	15 (12.0%)	26 (20.8%)	21 (16.8%)	16 (12.8%)	17 (13.6%)	30 (23.8%)
Isolation gowns	66 (52.8%)	25 (20.0%)	3 (2.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	30 (23.8%)
Vinyl aprons	59 (47.2%)	23 (18.4%)	6 (4.8%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)	34 (27.0%)
Face shields	75 (60.0%)	29 (23.2%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (15.9%)
Disposable caps	62 (49.6%)	22 (17.6%)	8 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (26.2%)
Goggles	61 (48.8%)	38 (30.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (19.8%)

【結語】 COVID-19パンデミック下の東京の診療所ではPPEの深刻な不足があったことが示された。

岡山大学病院 救命救急科 稲葉 基高

